



ICT機器を活用した防災教育 ～誰でも すぐに 楽しい防災講座～



静岡県中部地域局危機管理課
主査 小澤 秀明

1 はじめに

静岡県中部地域局では、地震災害が起きても自ら命を守ることができる児童・生徒を育成するため、静岡県中部地域（5市2町）の小・中学校を中心に、防災講座を実施しています。

今までの防災講座は、主に中部地域局職員や市町の防災担当職員が講師となり学校周辺のハザードマップや対象となる児童・生徒の発達段階に合わせた図や写真を含む資料等を用意し、児童・生徒に防災の知識を伝達する講話型の授業を展開していました。しかし、防災講座を実施していく上で、以下のような課題がありました。

- ・ 様々な防災に関する資料は、各関係部署ごとに繰り返し使用されているものが多く、個人で新たに資料を収集するとなると多大な時間を要する。
- ・ 防災の知識を伝達する講話型の講座が中心であり、児童・生徒にとっては受け身になりがちである。
- ・ 講座には資料のとりまとめなどの準備に多くの労力が必要となり、講師である教員や市町職員の負担が大きいため、講座の継続的な実施につながりにくい。

この3点の課題を解決するために、ICTを活用し、児童・生徒が楽しく防災を学ぶことができ、かつ、誰でもすぐに楽しい防災講座が実施できるタブレット端末用アプリ『静岡県防災学習（地震）』を作成しました。

2 『静岡県防災学習（地震）』の特徴

①画像や動画等の豊富な防災関連資料を100枚以上取りそろえているため、資料等の収集、作成をする必要がありません。特別な準備がなくても誰でもすぐに活用でき、タブレット端末1つあれば防災講座が実施できます。

②児童・生徒が防災により親しみがもてるようクイズ形式も取り入れました。また、講師と児童・生徒の端末を連動させ、クイズの答えを参加者全員で共有することができるようにしました。

連動させることにより、クイズの場面では、回答を集約し共有することで、自分の答えと級友の答えを比べることができる、比べながら対話したり考え直したりするなど、各々がもう一步踏み込んで考えを深めることができるようになりました。

③静岡県防災アプリ「静岡県防災」^{*}と連携し、その中の各種災害ハザードマップ等の情報を活用して講座を行うことができるようにしました。

連携して簡単に調べられるようになったことで、「静岡県防災」の各種ハザードマップを活用し、児童・生徒が自ら居住地の危険度を調べ、災害は自分の身近で起こり得ることを認識できるようになりました。

3 成果と今後に向けて

『静岡県防災学習（地震）』を活用した講座や研修を実施した全ての学校からは、

「分かりやすい」「子供たちは夢中になって学習していた」「操作が簡単！今すぐにも授業実践をしたい」等の感想が得られるなど、好評価をいただいています。また、児童・生徒が自らタブレット端末を操作することで、主体的に学ぶことができるようになり、真剣に防災学習に取り組むようになりました。クイズや「静岡県防災」を使う場面では、コミュニケーションも活性化し、級友との対話を通して理解を深める姿も多く見られました。

県教育委員会や各市町教育委員会へ本アプリの内容を説明したところ、防災講座に加え、教職員の研修等にも活用されたほか、市町職員が防災講座の際に活用するなど、学校や市町が自ら防災講座を行う事例も増えてきています。

静岡県中部管内の市町では、本アプリの1人1台端末へのインストールを進めているところ。各児童・生徒の端末で使用できることにより、教職員が気軽に使用できたり、各児童・生徒が個人で深く学習したりすることができます。また、家庭で家族と共に学習するなど、学校

に加え、家庭や地域へと活用の場が広がり、地域の防災力向上の一助となっていくことが期待できます。今後、この『静岡県防災学習（地震）』をさらに広めていくことで、誰でもすぐに防災講座が行える環境を目指していきたいと思います。



防災授業光景①



防災授業光景②

※静岡県が運用している各種緊急情報の通知から、ハザードマップの確認、平時の防災学習や避難トレーニングなどの機能を備えたスマートフォン向け総合防災アプリ

『静岡県防災学習（地震）』ってどんなアプリ？

- ◆ 地域の特徴・危険を理解し、『地震から自らの命を守る力』を育成します。
- ◆ 教師の授業準備の負担が軽減され、かつ、子ども達に分かりやすい授業ができます。

防災学習

内	1 地震発生のメカニズム
容	2 居住地域の特徴と被害想定
項	3 地震が起きた時の命の守り方
目	4 日頃からの備え

- 各単元単体での授業が可能です。
- 各項目より選択し組み合わせで授業を構成することもできます。
- 4つの内容項目が、1回の授業（概ね45分程度）で実施できる「標準セット」も用意されています！

防災教育が大事だと分かっているのですが、資料などの準備が大変で悩んでいます。

子ども達にとって分かりやすい資料が豊富（スライド100枚以上！）にそろっています。操作も簡単！防災に対して特別な知識がなくても、事前準備に時間をかけずに実施できます。

子ども達に主体的に考えさせる防災教育のやり方に悩んでいます。

受講者と講師の結束を運動させたり、クイズの回答を講師の端末に集約したりするなど、コミュニケーションを活性化させ効果的な防災授業を展開することができます。対話を通して学ぶことで、理解も深まります。

「静岡県防災学習（地震）」概要

『静岡県防災学習（地震）』を使って授業をしました！

地域の危険性を調べよう

子ども達が自ら調査結果を調べること。国は地の危険を優先事項としてとらえることができます。

防災クイズをみんなで考えよう

グループ等で意見交換をすることで「なぜだろう」と考え学び合う、主体的な学習が期待できます。

みんなの考えを見てみよう

グループ等で考えた回答を集約し、全体で共有することができます。相互学習を促しながら、考えをさらに深めます。

防災授業を受けた子ども達の感想

- ・みんなと一緒に調べたり、防災クイズを考えたりして楽しかった。
- ・（タブレットに入っているアプリを）使ったので、どうしているか、どんな危険があるか、分かりやすかった。

防災アプリを体験した先生方の感想

- ・ICFを活用することで、子ども達にとっても、分かりやすく楽しく学べる。
- ・操作が簡単！防災の知識が低い者でも事前準備に時間をかけず進んで有り難い。
- ・今すぐでも、授業実践をしたい！！

※昨年夏、中部地域が「静岡県防災学習（地震）」を活用した防災授業。防災講師の地に行ったアンケートでは「分かりやすかった100%（全15回）」をいただきました。

「静岡県防災学習（地震）」の良いところ